

## 第V章 自由回答



最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についての意見や要望に対して、149人から回答が寄せられた。

ここでは、意見や要望を内容ごとに分類し、その一部を掲載する。

また、掲載については、なるべく多くの方の意見や要望を掲載するため、回答の文中から一部を抜粋した場合もある。

## 【男女共同参画について】

- ◎ アンケートの設問に男女共同参画そのものに対してのものがなく残念。  
(20歳代/未婚/学生/川越比企地域)
  
- ◎ 私は私立の女子大学に勤めておりました。男女共同参画の意義については、理解しているつもりですが、日本の歴史的背景もあり、時間をかけて取組む事が必要と思う。共同参画の推進を急ぐあまり、女性の権利を主張、押し付ける事は、逆効果ともなる。  
(60歳代/既婚/無職/川越比企地域)
  
- ◎ 職場内でも、家庭でも、地域のボランティアにおいても、それぞれ男女の性別だけでなく、性格等の向き不向きがあると思います。その様々な人間性に合わせて参加が出来る様な、情報提供を発信するような機関の充実を図る事が必要と思います。不勉強で申し訳ありませんが、回答とさせていただきます。ありがとうございました。  
(50歳代/既婚/その他/さいたま地域)
  
- ◎ 人口構成より、女性の職場への参画は必要であること。  
出産は女性のみ可能である為、この期間の充分の保護、支援が必要なこと。  
男女平等に対する意識は改善されつつあるが、この徹底を図ること。  
男女とも相手を人間として尊重する事。使い捨ては反対、新自由主義的思考は反対。  
(70歳以上/既婚/自由業・自営業・家業/さいたま地域)
  
- ◎ 男女共同参画と呼び声は聞かれます。しかし大分進んできたとは思いますが、企業、役所等では、まだまだ仕事に向かない面があるように見受けられます。女性は女性らしくを求めず、互いに助け合いながら共同で仕事が出来るとなれば、もっと良くなると思います。  
(70歳以上/既婚/専業主婦/西部地域)

- ◎ 家庭、社会の中で男女の適性はそれぞれ異なって当然だと思う。「平等であるべき」は誤解を招く、適性と平等とを明確に認識すべき。女性の最大の負担は子を産み育てるエネルギーであろう。男性と社会がそれを分担もしくは全責任を負担すべき。

(60歳代/既婚/無職/利根地域)

- ◎ 男女共同参画は良いが、それに伴うリスク（家庭での教育、躰、地域でのコミュニケーション等）が大き過ぎると思います。女性が社会進出で失う家庭、家族リスクを重視してほしい。女性の就職のM字カーブ、雇用の均等などあるが、家庭と考えると企業は雇いにくくなる。雇いやすくなると、人間が企業のパーツ化して働く意欲が落ちる。体のつくりや特性により、そもそも平等にはならないと思う。しかしながら、対等であり、公平では、あるべきだと思う。目先の税込、社会での労働力人口を確保することより、家庭を安定させる目標にすべきだと思います。

(40歳代/既婚/自由業・自営業・家業/西部地域)

- ◎ すべてを男女平等にする必要は無いと思う。男性に適した事、女性にしか出来ない事もあり、それらをバランス良く考えていくことが必要だと思う。

(50歳代/既婚/会社員・団体職員/東部地域)

- ◎ 家庭には家庭の役割分担があると思います。身体的に女性の方が子育てに適しているし、男性の方が就労に優れていると思います。女性には妊娠し、職を休業する時間が必要だし、子育てに集中する時間も必要であると思います。今回のアンケートの指標に背く事になるかと思いますが、職場の中心は男性、家庭の中心は女性という考え方で私は良いと思います。少子化が、問題となっている現在、そのような役割分担をある程度はつきりさせていかないと、更なる少子化に拍車をかけることになると思います。

(30歳代/既婚/自由業・自営業・家業/川越比企地域)

- ◎ 抜本的な男女共同参画推進における改革が必要だと思う。

(20歳代/未婚/会社員・団体職員/さいたま地域)

- ◎ 少子高齢化という国内事情やいろいろな面でのグローバル化が避けられない状況下において男女共同参画の推進は、喫緊の要事、女性の才能活用と地位の向上のための企画が大切と思われます。

(70歳以上/既婚/無職/南西部地域)

- ◎ 男女平等にとらわれすぎないほうが良いのではないかと思います。

(20歳代/既婚/会社員・団体職員/川越比企地域)

- ◎ 能力ある女性の積極的登用をすること。

(70歳以上/既婚/無職/西部地域)

- ◎ 男女共同参画社会は素晴らしい事だと思うが、それを実現させるためには、介護、子育て等のコストをどれだけ支払う事が出来るか、もしくは県、市等がどれだけ負担できるかに尽きると思われます。その為の財源として増税もしくは無駄の排除を徹底させる事が必要と考える。

(50歳代/既婚/会社員・団体職員/さいたま地域)

- ◎ 男性がもっと家事を行い、女性はもっと仕事や地域活動に参加すべきである。その点が日本は非常に遅れていると思う。

(60歳代/既婚/自由業・自営業・家業/東部地域)

## 【子育て・介護について】

- ◎ 保育所等を充実させ女性の働きやすい環境を至急整備してほしい。

(60歳代/既婚/無職/南部地域)

- ◎ 保育所をもっと増やして欲しい。

(20歳代/既婚/会社員・団体職員/利根地域)

- ◎ 社会活動への男女共同参画を推進するため行政が出来ることを調べている事は評価します。＜要望＞介護サービスが貧弱なのを改善して欲しい。(でないと家族が(特に女性が)介護に明け暮れる事になるから。)高い市県民税を取りながら他地域のサービスより劣るのは許せない。保育園、幼稚園への投資が少ないことを改善して欲しい。(女性に社会に出てもらいたいなら)。施設の破損や老朽化への修繕費用がケチられるのは何故? また、職員の数が足りない事により人数制限が発生し、女性が働けないケースが生まれている。昨今モンスターペアレンツの問題が社会問題化している。保育園、幼稚園、学校の職員が安心して働けるよう、先生側の相談員(弁護士など)を常設するべきだと思います。

(30歳代/既婚/自由業・自営業・家業/東部地域)

- ◎ 保育園を充実させて欲しい。東松山市は待機児童が多すぎて入れません。息子が6ヶ月の時に育児休業を終え復職しましたが、東松山市は保育園がどこもいっぱいに入れないと市役所で突き返されました。仕方なく、滑川町の家庭保育室で受け入れてくださったので、働くことが出来ましたが、保育園を増やさないと女性は復職できません。因みに、東松山の保育園の園長に空きがないか直接たずねたところ、0歳児は空きが1つあるといわれ、急いで市役所に行ったのですが、1歳以上の定員が120%を超えているので、0歳児に空きがあっても入れないと言われ結局は入れませんでした。特に0歳児は預かってもらえる場所が少ないので、こういったシステムではダメだと思います。県庁に問い合わせたところ、そういった取り決めは市町村独自にやっているものだと知りました。東松山市のやり方には納得できません。

(20歳代/既婚/会社員・団体職員/川越比企地域)

## 【意識改革・啓発について】

- ◎ 社会の女性労働に対する考え方を変える必要がある。“女は子供を生むか結婚すると会社を辞める”という考え方。女性自身も力仕事やどうせ女性だから、この程度の仕事しか出来ない、やらせてもらえないという考え方。子育てに対する会社、社会等の現状のギャップ。  
(40歳代/既婚/会社員・団体職員/北部地域)
- ◎ 現在は女性が強くなりました様に思います。お互いに皆さんが思いやりを持ってくださればもっと社会は良くなると思いますが、高齢者が多くなっているといわれると生きているのが心苦しく感じている者です。お蔭様で現在子供二人に囲まれて幸福に思っています。  
(70歳以上/未婚/無職/さいたま地域)
- ◎ 男女平等が健康的で明るい未来につながる広報、運動が少ない。新聞、ラジオ、TV、公共施設での活動を期待します。難しい暗い世の中を乗り切っていく為に男女平等運動は大きな旗頭なのです。  
(70歳以上/既婚/会社員・団体職員/西部地域)
- ◎ この設問に関係は無いのですが、役所では「横文字」が多すぎると思います。日本語、美しい日本語を守ることから、意識改革が始まるのではと思います。この設問への解決の手口は、“フランス”の制度を参考にして、導入できるところから順次 {実行} してみるのはいかがでしょうか？そのためには、地域社会、学校等で男女の固定観念を取り除くことから始める事を提示したいと考えます。  
(40歳代/未婚/会社員・団体職員/南西部地域)
- ◎ 日本独特の風潮として、「男性は仕事、女性は家庭」が根幹に存在します。男女共同参画に関しては、この風潮を悪しき風潮（社会通念）として認識されない様にして欲しい。  
(40歳代/未婚/会社員・団体職員/県央地域)
- ◎ 男性にはまだ女性の共同参画への意識が低いところがあり、女性は逆に積極的でない面がある。最近の女性の意識行動は随分向上はしているが、まだまだ低い人が多い。  
(70歳以上/既婚/無職/北部地域)
- ◎ 現実のところ「女性の男女共同参画」意識が低いのが多数であると感じる。進歩的女性はまだ女性の中でも少数派と思われる。日本の伝統的儒教思想や家族観その上で乗った女性の甘えの構造がかいま見える。  
(30歳代/既婚/会社員・団体職員/南部地域)
- ◎ 男子には育児に関しての教育は、家庭科の授業でも0時間、まして社会に出てからの育児知識に触れる時間は無いので、教育から改良していくのがベストではないか思います。  
(50歳代/未婚/無職/東部地域)

- ◎ 男女共同参画は言葉だけが踊るのではなく、日本伝統の美風を損なわないように。男女、夫婦と固有の資質を見失わないような剛健と優しさを生かす事が今日大切に思います。また、職場の問題も特に女性は、50歳過ぎればパートも無く一般の女性にとっては空文ではないかと推察します。

(70歳以上/既婚/無職/川越比企地域)

- ◎ 女性自身の意識向上を進める必要があると思います。(積極的に社会に出て欲しい。しかし、出るからには責任をもって欲しい。)

(30歳代/既婚/会社員・団体職員/さいたま地域)

- ◎ 東京、神奈川、千葉と比較すると埼玉は今回の質問事項の内容は後進県であると思う。特に旧体質の風土がかなり残っている為、すぐの対応、改革は容易ではないと思います。

(50歳代/既婚/会社員・団体職員/北部地域)

## 【社会制度について】

- ◎ 企業においても、大中小とあり、又、地域の特色もあるので全体的な底上げを図るには、きめ細やかな施策を講ずる必要があると思われまます。

(60歳代/既婚/自由業・自営業・家業/北部地域)

- ◎ 行政と企業の支援なくして、その社会の実現は困難でしょう。

(30歳代/既婚/会社員・団体職員/さいたま地域)

- ◎ 男性の雇用自体が少ない現状において、女性の雇用は更に厳しくなっている。日本全体の経済回復がなされなければ、女性の社会活動も活性化しない。

(40歳代/未婚/無職/南部地域)

- ◎ 現在、男性、女性が仕事において差別を受ける事は、昔に比べ少なくなっていると思いますが、まだまだ職場には女性職員の数は少ない。職種によっては、男性でなければならぬものもあると思うが、制度を見直すなど、男女が平等に働き生活していける社会になることを願っています。

(30歳代/既婚/公務員・教員/さいたま地域)

- ◎ 少子高齢化の現在、性別に関係なく適材適所で社会に参画するべきと思います。

(70歳以上/既婚/無職/南西部地域)

- ◎ 不当な残業や企業コンプライアンスの欠如を改善すべく、労働局を含め監督機関の機能を果たしてもらいたい。中小企業に勤めている者として、現在の国内事情からも、ワーク・ライフ・バランスを重視した流れをどんどん取り入れて欲しいが、現実には難しい・厳しいの一言に尽きる。労働力の分配など、企業内の中での労働形態選択制度の様な仕組みを作ってもらいたい。それによって、自分の時間を作り、子育て等に参加できれば、給料が一時的に下がろうが、問題ない。

(30歳代/未婚/会社員・団体職員/利根地域)

- ◎ 40人（パート含む）程の会社ですが男女の賃金にかなりの差が有ります。女性でも能力がある方はいるのに、まるで安い。あれでは意欲を無くします。

(40歳代/未婚/会社員・団体職員/北部地域)

- ◎ 私（男）は、自動車メーカー勤務ですが、40年位前は女性は（コピー、お茶くみ、掃除etc）の雑用ばかりでした。今は、男性と同じ業務をする女性が大幅に増えました。それでも、女性管理職は、まだ1人もいません。40年たっても、この状況は、少し遅れているかと思います。男性、女性の意識改革も勿論必要ですが保育施設etcの具体的支援が、大きな効果を生むと考えます。

(50歳代/未婚/会社員・団体職員/川越比企地域)

- ◎ 女性に子供が出来た時に、必ず休業しなければならないが、数ヶ月の休業があると、復帰後の業務のリハビリが必須となり、そのような研修が必要になると思う。また、育児休業だと、上記のように仕事が置いていかれてしまうので、時間短縮の方が、リスクが下がる。

(20歳代/既婚/会社員・団体職員/北部地域)

## 【行政施策への要望について】

- ◎ 問27-2のその他の欄に記入しましたが、このアンケートの答えの項目（何が必要か）の所は、無理なものが多く理想だけ、実際にこのようなアンケート結果を集計して条例に反映しても企業を苦しめるだけで、社会も生活も変わらない。今ある問題はどのように起こっているのか？その原因は？個人はどのように出来ないのか？もっと実態の所を調べてください。

(30歳代/既婚/会社員・団体職員/東部地域)

- ◎ 仕事、保育所。全てにおいて平等になる事はないような状況であるし、改善される気配もない。政治家は自分の金の事しか考えてないから、世の中、貧富の差がはげしいし、何を変えていけばいいかが見えないんだと思う。

(20歳代/既婚/会社員・団体職員/)

- ◎ 男性でも、女性でもより適切な仕事が一生できるように、しくみ作りをお願いします。

(70歳以上/既婚/その他/北部地域)

- ◎ 物の裕福より心の裕福の社会を作ってください。  
(70歳以上/既婚/無職/南西部地域)
- ◎ 議員さん（国、県、市町村）が非常に多く税金が効果的に使われてない。この方面に女性が是非進出して、より良い国にしてほしい。家族構成が年寄りのみにするのでなく、昔のごとく何代もの家族が一家に住む様な方法を考える事も必要ではないか？そのためには女性の意識改革研修機会があってもよいと思う。介護、子育ての地位向上を考えられないか？  
(70歳以上/既婚/無職/東部地域)
- ◎ 活動内容が見えない。  
(70歳以上/既婚/無職/南西部地域)
- ◎ 仕事を持つ親向けのセミナーを平日の日中帯に行くことをやめてほしい。市役所本店の窓口業務の対応を川口駅の行政センター並みに改善してほしい。市役所本店の外国人向け窓口の対応が人をバカにしているような対応なので改めてほしい。土日も窓口を開けて業務をしてほしい。（本店でしか出来ない業務があるから。）  
(30歳代/既婚/会社員・団体職員/南部地域)
- ◎ アンケート調査が、集計、分析に終わってほしくないです。  
(60歳代/既婚/無職/県央地域)
- ◎ 法的に議会や役所から女性の定数など、男女共同への推進を積極的に実施してほしい。  
(60歳代/既婚/会社員・団体職員/県央地域)
- ◎ 私は76歳なので、あまり参考にはならないと思う。もっと、年代を分けて調べたらよいと思う。何を知らうとしているか、質問の意図がわからぬ。  
(70歳以上/既婚/無職/東部地域)
- ◎ アンケートの内容をもっと立場別に細かく分けた方が、いい統計になるのではと思います。会社員、自営業、経営者等など、それぞれ答え方も異なってくるし、今回のアンケートでは、一般的過ぎて答えづらいし、正確な気持ちが書けない。  
(60歳代/既婚/自由業・自営業・家業/県央地域)
- ◎ 文章をわかりやすく短くして欲しい。役所や税務署関係などはわかりにくい。作成した人はわかると思うが、そうとれない人も多分沢山いると思う。難しい言葉や英語を使う事がカッコイイと思っている人は良いかもしれない。  
(60歳代/既婚/パート・アルバイト/川越比企地域)
- ◎ あまり意味が無いのでは？ もう少し金を福祉などに廻すことにしたらどうです？アンケート調査について。結果をまとめるために、また金（税金）を使うのは無駄だと思う。  
(50歳代/既婚/会社員・団体職員/県央地域)

- ◎ 質問が多すぎる。回答したいと思わなくなる。この様な文書でアンケートを取るよりFace to Faceでやるべきで、本当の声は聞こえてこない。税金の無駄である。文書でやるのであればシンプルなアンケートにするべきである。

(40歳代/未婚/会社員・団体職員/北部地域)

- ◎ 意見を聞くだけでなく、実行してください。

(30歳代/未婚/会社員・団体職員/北部地域)

- ◎ 国、県、市には目先の行政ではなく、未来をしっかりと考えた現実性のあるわかりやすい開いた社会を希望します。

(60歳代/未婚/会社員・団体職員/西部地域)

- ◎ 貴重な時間を費やして回答しているのだから、集計結果はきっちり施策に活かして欲しいものです。督促状まで送りつけるくらいだから税金のムダ使いは絶対にやめてください。集計結果は回答者にきっちり送付すべきです。

(40歳代/未婚/会社員・団体職員/西部地域)

- ◎ こうしたアンケートの結果を広く公表して、先ずは世間一般の意識を高めていただければと思います。(無関心な人が多すぎる。※特に40歳以上の世代)

(40歳代/既婚/会社員・団体職員/川越比企地域)

- ◎ 仕事や家庭、育児、介護については、個人の価値観や資質、環境に左右される事が多い。それについては、十分配慮しながら施策を進めて欲しい。一方的な価値観の押し付けを行政がやるのは反対。

(30歳代/未婚/公務員・教員/東部地域)

- ◎ 社会の動きや時代の流れの中で自然と推移して行くことで、国や自治体が民衆に意識付けや、方向付けを行うことなどあってはならないと思う。

(50歳代/未婚/自由業・自営業・家業/南部地域)

- ◎ 援助資源があっても、その存在を知らない人や知っていても利用できない(利用の仕方がわからない)人も、まだ多いと考えます。公的な援助資源については、その存在をもっと周知していくべきであると思います。また、相談窓口などには、カウンセラー等、傾聴技術を有する者を配置し、利用者が些細な事でも相談できるように整備していくと良いと考えます。

(30歳代/既婚/自由業・自営業・家業/利根地域)

- ◎ 育児と夫のサポートと家事を全うするために外に働きに行けない専業主婦は沢山います。家でそれらの仕事をする事は、外に働きに行くのと同じくらい大切な仕事である。専業主婦を「まったく仕事をしない人」という位置づけはやめるべきである。国勢調査のとき、専業主婦を「まったく仕事をしない人」という扱いはやめるべきである。

(70歳以上/既婚/公務員・教員/川越比企地域)

- ◎ 真の男女平等になるためには、意識は勿論、社会、環境、経済等の条件が揃わなくてはならない。男女が社会の担い手になるのは良いが、そのために失業者、ホームレスが増えることは望ましくない。歩道橋建設のような無駄な事をしている限り無理なような気がする。  
(60歳代/既婚/自由業・自営業・家業/さいたま地域)
- ◎ 私が関心を持ってみていない、もしくはただ単に触れる機会がないだけかも知れませんが、テーマ（男女共同参画推進）について県が具体的にどのようなことをしているのか知っている住民が少ないのではないかなと感じます。（男女共同参画に現実問題として関わりのあるほうでない限り）ですので、周知させるためにも、「何が問題で、それによってどのような弊害が生じ、私たちの生活にどう関わってくるのか」を知らせる必要があると思います。やはり人間ですので、自身と関わりの薄い事柄には見向きもしないものなので。  
(20歳代/未婚/会社員・団体職員/さいたま地域)
- ◎ 仕事を持っている日本の女性は、仕事、育児、家事、中には介護と荷が重過ぎる。まだまだ男性の協力が得られてない。行政には、この件に関しては、しっかり取り組んで欲しい。  
(70歳以上/既婚/自由業・自営業・家業/南部地域)
- ◎ 育児休暇の間は給与が無いため、とれない現実があります。その為、県などから企業に対し、啓蒙活動をして欲しいと思います。そして企業のトップの意識が少しずつ変わり、社会が変化して（良い方向）行く事が望ましいと思います。  
(60歳代/既婚/パート・アルバイト/利根地域)
- ◎ 共同参画の基本は働きたい女性をもっと働き易い環境を整備充実することだと思う。これに伴い家庭経済の安定性が得られてこそ共同参画の推進がより進展するのではないか。家庭生活、地域活動の大前提は安定して暮らせる家庭経済力持続のために幼児、児童、保育施設並びにこれ係る人材の強化（確保）を県としてもっとダイナミックな施策を実施して欲しい。但し、せっかく働いても、その収入の大半（半分以上）が保育料にかかるのでは問題である。少子化に沿って、育児中の女性層が働きやすくなれば就業者の層として位置づけていくべきである。  
共同参画事業を現状～将来の人口構成に伴う諸問題の解決方法の一施策として、とらえてアピールしてもらえば、県民が自らの問題として一段と理解してもらえるのではないかと思う。  
(60歳代/既婚/パート・アルバイト/川越比企地域)
- ◎ 今の若い世代は男女共同参画には理解があると思うが、ある年齢を超えると男女の役割にきちっと区別する考えを持った人が多いように思える。その世代に行政も呼びかけを行ってってもらいたい。また、育児、介護休暇は男性では取りづらいのではないか。職種、大企業、中小企業によって環境が違うので、本当に取り組むのであれば、強制するぐらいでない、個人がどう考えていても、社会が強い意思表示をしなければ変わっていかないと考えます。  
(30歳代/未婚/会社員・団体職員/川越比企地域)

